

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 12諸支出金

項 02基金費

目 01財政調整基金積立金 事務事業番号 12020101

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
財政調整基金積立金		879,143 千円	千円	千円	45,615 千円	833,528 千円
財政部 財政課						
根拠法令	地方自治法第241条、苫小牧市財政調整基金条例					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	財政の健全な運営に資するため、予算で定める額を基金に積み立てます。					
事業の必要性	歳入の大幅な落ち込みや災害などの不測事態に対応するため、標準財政規模の5%以上（約20億円以上）の残高確保を目標に基金に積み立てます。					
事業の内容 SDGs17の目標	平成30年度末基金残高 3,588,862,078円 令和元年度基金積立金 879,142,788円 令和元年度基金取崩し額 952,246,806円 令和元年度末基金残高 3,515,758,060円					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	879,143 千円	担当正規職員	35 千円	0.005 人		
人件費	35 千円	嘱託職員	千円	人		
総 計	879,178 千円	再任用(フル)	千円	人		
		再任用(ハーフ)	千円	人		
		任期付職員	千円	人		
		臨時職員	千円	人		
事業実績 (活動指標)	指標名	単位	R1年度	H30年度	H29年度	
	基金の年度末残高	千円	3,515,758	3,588,862	3,667,384	
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	標準財政規模の5%以上（約20億円以上）の残高を維持します。					
事業の課題、今後の方向性等	令和元年度末の基金残高については目標額を確保できましたが、平成30年度末と比較し、約0.7億円の減少となります。また、令和2年度当初予算の財源対策などで約9.4億円の取崩しを見込んでいるため、差し引くと、実質は約25.8億円の残高となります。 今後も安定的で柔軟性のある財政運営のために現状の残高は確保していきたいと考えます。					
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 12諸支出金

項 02基金費

目 02減債基金積立金

事務事業番号 12020201

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
減債基金積立金		304,612 千円	千円	千円	3,570 千円	301,042 千円
財政部 財政課						
根拠法令	地方自治法第241条、苫小牧市減債基金条例					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	市債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる市財政の健全な運営に資するため、予算で定める額を基金に積み立てます。					
事業の必要性	経済事情の変動等による財源不足や市債の償還額が多額となる場合等の将来に備えて積立てを行う必要があります。					
事業の内容 SDGs17の目標	平成30年度末基金残高 2,188,435,496円 令和元年度基金積立金 304,612,059円 令和元年度基金取崩し額 408,180,000円 令和元年度末基金残高 2,084,867,555円					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	304,612 千円	担当正規職員	35 千円		0.005 人	
人件費	35 千円	嘱託職員	千円		人	
総 計	304,647 千円	再任用 (フル)	千円		人	
		再任用 (ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
事業実績 (活動指標)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
	基金の年度末残高		千円	2,084,868	2,188,435	2,169,564
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	令和元年度末の基金残高は平成30年度末と比較し、約1億円の減少となりましたが、事業の有効性及び効率性は高いと考えます					
事業の課題、今後の方向性等	今後の施設の老朽化対策等に伴う市債の増に備えて、経済事情の変動等による歳入減に対応可能な基金として機能できるような積立てが必要と考えます。					
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 12諸支出金

項 02基金費

目 03公共施設整備基金積立金 事務事業番号 12020301

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
公共施設整備基金積立金		402,300 千円	千円	千円	5,300 千円	397,000 千円
財政部 財政課						
根拠法令	地方自治法第241条、苫小牧市公共施設整備基金条例					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	施設の整備に要する経費の財源に充てるため、予算で定める額を基金に積み立てます。					
事業の必要性	老朽化した公共施設の統廃合を含めた更新に備えて積立てを行う必要があります。					
事業の内容 SDGs17の目標	平成30年度末基金残高 1,880,593,896円 令和元年度基金積立金 402,300,344円 令和元年度基金取崩し額 92,956,430円 令和元年度末基金残高 2,189,937,810円					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	402,300 千円	担当正規職員	35 千円		0.005 人	
人件費	35 千円	嘱託職員	千円		人	
総 計	402,335 千円	再任用 (フル)	千円		人	
		再任用 (ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
事業実績 (活動指標)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
	基金の年度末残高		千円	2,189,938	1,880,594	1,917,131
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	前年と比べ基金残高を約3.1億円増やすことができ、施設整備に要する経費の財源に充てることができるため、事業の有効性及び効率性は高いと考えます。					
事業の課題、今後の方向性等	今後の施設の老朽化対策等に伴う事業費の増に備えて、経済事情の変動等による歳入減に対応可能な基金として機能できるような積立てが必要と考えます。					
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 12諸支出金

項 02基金費

目 04総合戦略推進基金積立金 事務事業番号 12020401

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
総合戦略推進基金積立金		149,189 千円	千円	千円	149,189 千円	千円
総合政策部 政策推進課						
根拠法令	苫小牧市総合戦略推進基金条例					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	まち・ひと・しごと創生法第10条の規定により定める苫小牧市総合戦略の推進に要する経費の財源に充てるため基金を設置しています。					
事業の必要性	ふるさと納税による寄附金等の積立を行い、苫小牧市総合戦略に位置付ける施策へ充当することにより、事業の推進を図るため必要性の高いものです。					
事業の内容 SDGs17の目標	平成30年度末基金残高 147,803,782円 令和元年度基金積立金 149,189,000円 令和元年度基金取崩し額 102,262,000円 令和元年度末基金残高 194,730,782円					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	149,189 千円	担当正規職員	351 千円	0.05 人		
人件費	351 千円	嘱託職員	千円	人		
総 計	149,540 千円	再任用 (フル)	千円	人		
		再任用 (ハーフ)	千円	人		
		任期付職員	千円	人		
		臨時職員	千円	人		
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	R1年度	H30年度	H29年度	
	基金の年末残高	千円	194,731	106,131	33,258	
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	寄附金額の増加により、総合戦略に掲げる4つの寄附金の使い道に充当することができました。					
事業の課題、今後の方向性等	今後も基金の適切な管理に努め、総合戦略推進を図るため継続的に実施していきます。					
特記事項						